

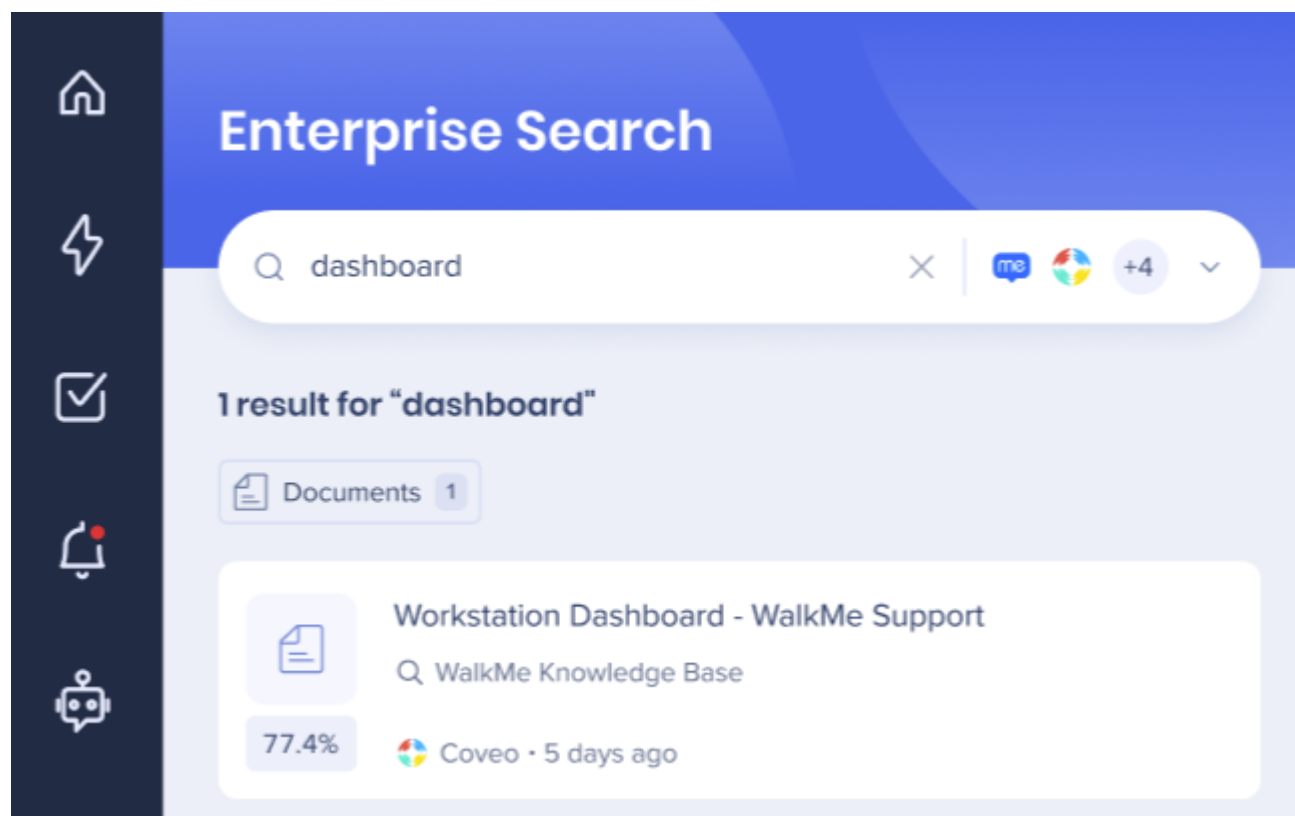
Coveo統合

概要

Coveoは、さまざまなアプリケーションに統合されるサービスとしてのソフトウェア検索エンジンです。ITチーム、サポートチーム、営業チーム、マーケティングチーム、財務チーム、人事チームでよく使用されます。

情報の確認

CoveoをWorkstationのエンタープライズ検索に統合すると、複数のプラットフォームで簡単にアイテムを見つけることができます。



設定の詳細

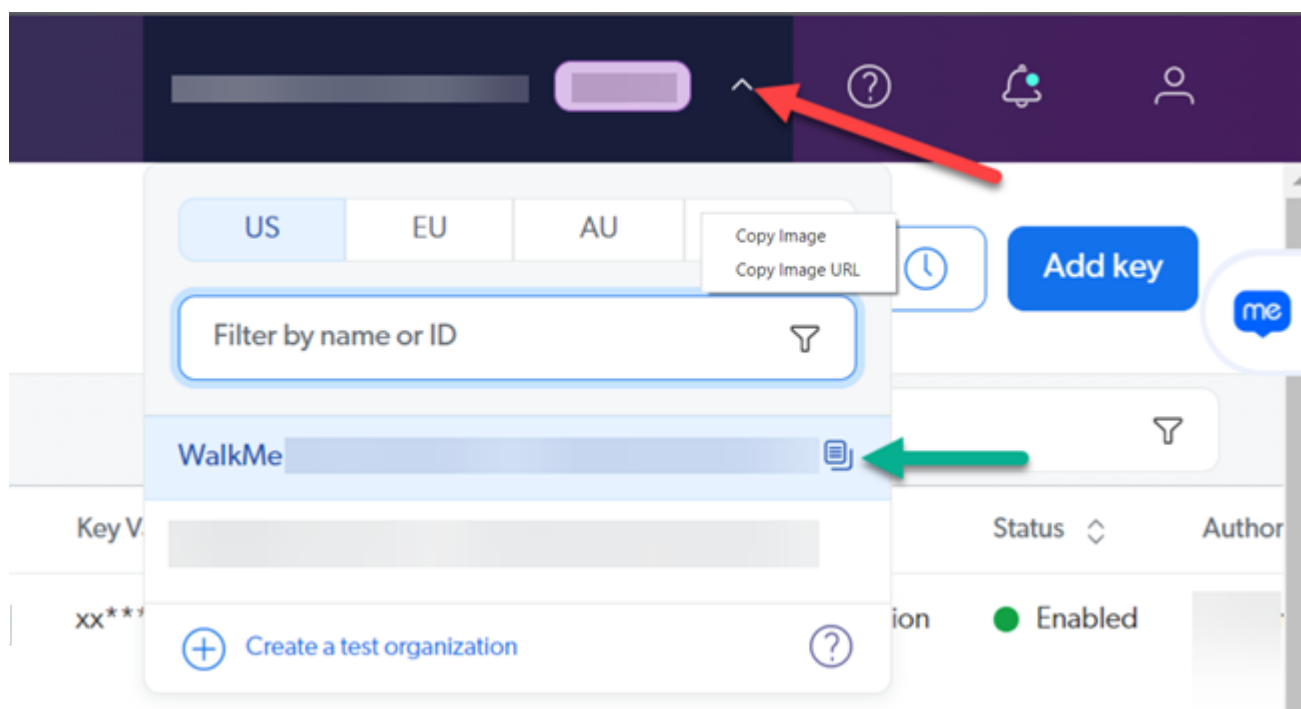
この統合にはAPIの設定が必要なので、Workstationの統合リストに追加できます。このアプリを設定するには以下が必要です：

- Coveoの管理者権限

- WalkMeコンソールのWorkstation統合ページへのアクセス

ステップ1：組織IDの取得

1. Coveo管理コンソールにログイン
2. 右上の「環境」ドロップダウンをクリックします
3. Workstationに接続する組織の「Org IDのコピー」をクリックします
4. 後で必要になるので、アクセス可能な場所に貼り付けます。



ステップ2 APIキーの追加

1. 左のハンバーガーメニューを開き、「組織 - APIキー」に移動します
2. 「キーの追加」をクリック

ステップ3 APIキーの編集

1. 「設定」タブに移動
2. キー名に

Add an API key ?

Configuration Privileges Access

Key name

Description

Allowed IPs

IP Address (Optional)

Workstationと入力します

3. 「権限」タブ-「>分析」セクションに移動します

4. 次のフィールドのアクセスレベルを変更します：

- 分析データ：「プッシュ」を選択
- なりすまし：「許可」を選択

Edit an API key: Workstation ?

Configuration Privileges Access

Analytics

Administrators

Access Level

Can Create

Analytics data

Push

Data exports

—

Data health

—

Delete user data

—

Dimensions

—

Impersonate

Allowed

Incoherent events

—

Edit an API key: Workstation ?

Configuration Privileges Access

Analytics

Administrators

Access Level

Can Create

Analytics data

Push

Data exports

—

Data health

—

Delete user data

—

Dimensions

—

Impersonate

Allowed

Incoherent events

—

5. 「権限」タブで、「検索」セクションに移動します

6. 実行クエリのアクセスレベルを許可

Add an API key [?](#)

Configuration Privileges Access			
	Name	Access Level	Can Create
Analytics	Execute queries	Allowed	
	Impersonate	Allowed	
Content	Modify authentication provider	— (no access)	
Machine learning	Query logs	—	✓
Organization	Query pipelines	—	✓
Search			

に変更

- 「許可された」を選択するとポップアップが表示され、Workstationで検索結果をプルするAPIキーの範囲を選択します

ステップ4 APIキーの作成

- 「APIキーの作成」をクリックします
- 「APIキー」ポップアップで、「クリップボードにコピー」をクリックします
- 別の場所に貼り付けます。後で必要になります

ステップ5 WalkMeコンソールでのCoveoのセットアップ

- コンソールのNavBarから**Workstation - 統合**ページに移動します
- 連動のリストからCoveoを探し、「**セットアップ**」をクリックします
- Coveoからコピーした情報を次のフォームに貼り付けます：
 - 組織ID：以前にコピーした**組織ID**を貼り付けます
 - APIキー：以前にコピーした**APIキー**の貼り付け

Configuration Setup

×

This app uses public data and does not require users authentication.
Therefore it will be connected automatically for all users.

Organization ID

The client identifier for background authentication.

API Key

Static identifier for your application on Workstation.

Custom Data Source Property

Field schema name that displays the source of the search result

[Reset Data](#)

[Cancel](#)

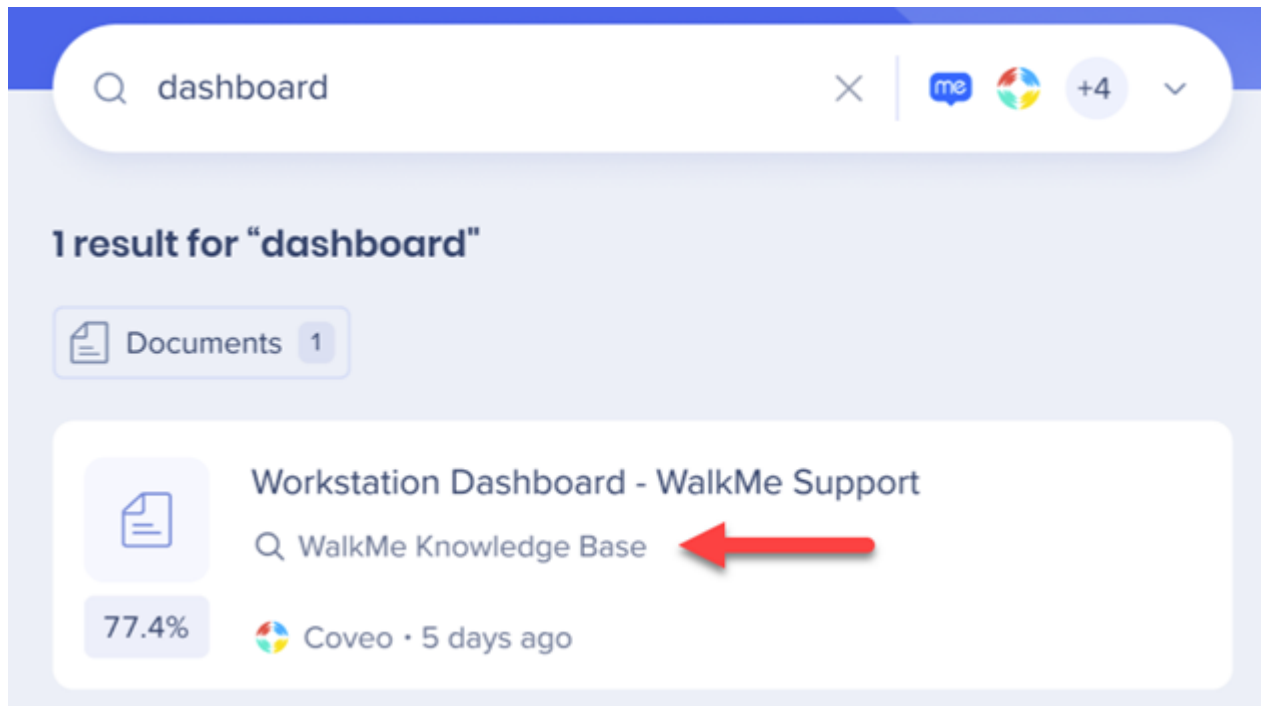
[Save](#)

ステップ6：（オプション）データソースプロパティの作成

Coveoは他の第三者と統合できるため、ワークステーションは検索結果のソースを虫眼鏡の横に表示できます。

このフィールドが入力されていない場合は、**objecttype**というデフォルトフィールドが使用されます。

オブジェクトタイプフィールドが空の場合、表示するソースデータがないため、虫眼鏡も表示されません。



制限

- タイトルのない検索結果は表示されません